

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 公開特許公報(A)

(11) 特許出願公開番号

特開2014-69827

(P2014-69827A)

(43) 公開日 平成26年4月21日(2014.4.21)

(51) Int.Cl.
B65D 5/02 (2006.01)F I
B65D 5/02テーマコード (参考)
3E060

審査請求 未請求 請求項の数 3 O L (全 13 頁)

(21) 出願番号 特願2012-216177 (P2012-216177)
(22) 出願日 平成24年9月28日 (2012.9.28)(71) 出願人 512079635
エムズラボ株式会社
新潟県燕市小高1380-1
(74) 代理人 100091373
弁理士 吉井 剛
(74) 代理人 100097065
弁理士 吉井 雅栄
(72) 発明者 山▲崎▼ 雅弘
新潟県燕市小高1380番地1 エムズラ
ボ株式会社内
Fターム(参考) 3E060 AA03 AB05 BA08 BC02 DA17
DA25 EA06 EA20

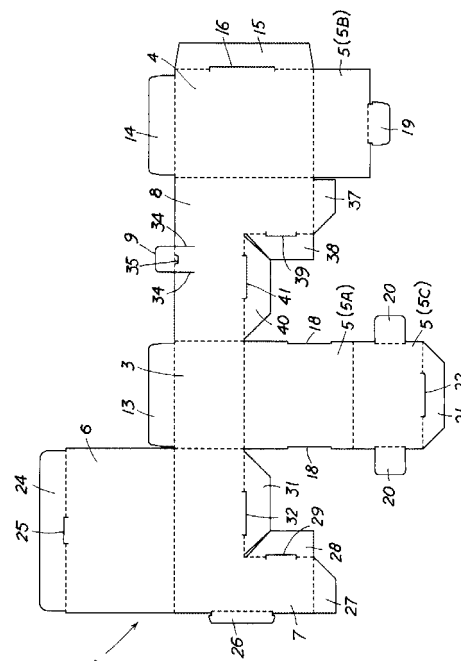
(54) 【発明の名称】 L字型収納箱

(57) 【要約】

【課題】安価で、且つ組み立て手順が分かり易く、必要時に簡単に組み立てて使用することができ、しかも、収納物の出し入れが容易にできるL字型収納箱を提供する。

【解決手段】方形状に形成した上面部3、底面部4、正面部5及び背面部6と、L字型に形成した一对の左側面部7及び右側面部8とから成り、上面部3と底面部4と左側面部7と右側面部8とを一直線上に配設して折り縁を介して連設し、背面部6を上面部3と底面部4と左側面部7と右側面部8のいずれかの背面側に折り縁を介して連設すると共に、連設した側と反対側に、上面部3と底面部4と左側面部7と右側面部8のいずれかに設けられこの背面部6を開き止め係止する開き止め係止片9と係合する係止片係合部10を設けた一枚の紙製展開材を折り曲げて組み立て形成したL字型収納箱。

【選択図】図1



【特許請求の範囲】

【請求項 1】

一枚の紙製展開板材を折り曲げて組み立て形成し、長靴やロングブーツ等の L 字型の収納物を起立状態で開閉自在に設けた背面側開口部から出し入れし得るように構成した L 字型収納箱であって、前記紙製展開板材は、方形状に形成した上面部、底面部、正面部及び背面部と、L 字型に形成した一对の左側面部及び右側面部とから成り、前記上面部と前記底面部と前記左側面部と前記右側面部とを一直線上に配設して折り縁を介して連設した構成とし、前記背面部を前記上面部と前記底面部と前記左側面部と前記右側面部のいずれかの背面側に折り縁を介して連設すると共に、連設した側と反対側に、前記上面部と前記底面部と前記左側面部と前記右側面部のいずれかに設けられこの背面部を開き止め係止する開き止め係止片と係合する係止片係合部を設けた構成とし、前記正面部は、奥側正面部と手前側正面部とこの奥側正面部と手前側正面部との間に配設される先端上面部とで構成すると共に、前記先端上面部を谷折する折り縁を介して前記奥側正面部と連設した構成としたことを特徴とする L 字型収納箱。

10

【請求項 2】

前記紙製展開板材の前記上面部と前記先端上面部とを同形状に形成して、この紙製展開板材を折り曲げて組み立て形成した二体の L 字型収納箱を、一方の L 字型収納箱の上面部と他方の L 字型収納箱の先端上面部とを合わせて巴状に組み合わせた際に、一方の L 字型収納箱の背面部と他方の L 字型収納箱の手前側正面部とが面一状態となるように構成したことを特徴とする請求項 1 記載の L 字型収納箱。

20

【請求項 3】

前記紙製展開板材は、段ボールから成ることを特徴とする請求項 1, 2 のいずれか 1 項に記載の L 字型収納箱。

【発明の詳細な説明】

【技術分野】

【0001】

本発明は、一枚の紙製展開板材を折り曲げて組み立て形成した L 字型収納箱に関するものである。

【背景技術】

【0002】

従来、長靴等の L 字型の収納物を収納する L 字型収納箱としては、特許文献 1 に示すような L 字型収納箱が提案されている。

30

【0003】

この従来の L 字型収納箱は、後面板と後左側面板と左前面板と前左側面板と右前面板と右側面板と糊代片とを順に連設して、後面板の上端辺に L 字形の蓋面板を連設して、後面板と後左側面板と右前面板と右側面板との下端辺に底面板群をそれぞれ連設して、この底面板群の前端辺と底面板群の左端辺とに、繫止切込みを設けた底折返し片をそれぞれ連設して、左前面板と前左側面板との下端辺に、底差し込み片をそれぞれ連設した一枚のブランクを折り曲げて L 字状に組み立て形成したものである。

40

【先行技術文献】

【特許文献】

【0004】

【特許文献 1】実開平 6 - 7 6 0 2 3 号公報

【発明の概要】

【発明が解決しようとする課題】

【0005】

しかしながら、この従来の L 字型収納箱は、四つの面板（後外底面板、左内底面板、前外底面板、右内底面板）を張り合わせたり組み合わせたりして L 字型の面を形成する構成となっている。そのため、展開板材の形状が複雑になっており、組み立て手順が複雑で分かりづらく、また、面同士を接着する作業もあるので、組み立て工数が掛かってしまい、

50

必要なときに直ぐに組み立てて使用することができなかった。

【 0 0 0 6 】

また、この従来の L 字型収納箱は、L 字型面を開口部として、この L 字型面から収納物の出し入れを行う構成としているため、例えば、長靴を収納する場合、一々、一足ずつ横向きにして収納しなければならないので、収納しづらく使い勝手が悪かった。

【 0 0 0 7 】

本発明は、上述のような現状に鑑みなされたもので、展開板材の形状が単純で組み立て手順が分かり易く、必要時に簡単に組み立てて使用することができ、しかも、収納物の出し入れが容易にできる実用性に優れた L 字型収納箱を提供することを目的とする。

【課題を解決するための手段】

10

【 0 0 0 8 】

添付図面を参照して本発明の要旨を説明する。

【 0 0 0 9 】

一枚の紙製展開板材 1 を折り曲げて組み立て形成し、長靴やロングブーツ等の L 字型の収納物を起立状態で開閉自在に設けた背面側開口部 2 から出し入れし得るように構成した L 字型収納箱であって、前記紙製展開板材 1 は、方形状に形成した上面部 3、底面部 4、正面部 5 及び背面部 6 と、L 字型に形成した一对の左側面部 7 及び右側面部 8 とから成り、前記上面部 3 と前記底面部 4 と前記左側面部 7 と前記右側面部 8 とを一直線上に配設して折り縁を介して連設した構成とし、前記背面部 6 を前記上面部 3 と前記底面部 4 と前記左側面部 7 と前記右側面部 8 のいずれかの背面側に折り縁を介して連設すると共に、連設した側と反対側に、前記上面部 3 と前記底面部 4 と前記左側面部 7 と前記右側面部 8 のいずれかに設けられこの背面部 6 を開き止め係止する開き止め係止片 9 と係合する係止片係合部 10 を設けた構成とし、前記正面部 5 は、奥側正面部 5 A と手前側正面部 5 B とこの奥側正面部 5 A と手前側正面部 5 B との間に配設される先端上面部 5 C とで構成すると共に、前記先端上面部 5 C を谷折する折り縁を介して前記奥側正面部 5 A と連設した構成としたことを特徴とする L 字型収納箱に係るものである。

20

【 0 0 1 0 】

また、前記紙製展開板材 1 の前記上面部 3 と前記先端上面部 5 C とを同形状に形成して、この紙製展開板材 1 を折り曲げて組み立て形成した二体の L 字型収納箱 11 を、一方の L 字型収納箱 11 の上面部 3 と他方の L 字型収納箱 11 の先端上面部 5 C とを合わせて巴状に組み合わせた際に、一方の L 字型収納箱 11 の背面部 6 と他方の L 字型収納箱 11 の手前側正面部 5 B とが面一状態となるように構成したことを特徴とする請求項 1 記載の L 字型収納箱に係るものである。

30

【 0 0 1 1 】

また、前記紙製展開板材 1 は、段ボールから成ることを特徴とする請求項 1、2 のいずれか 1 項に記載の L 字型収納箱に係るものである。

【発明の効果】

【 0 0 1 2 】

本発明は上述のように構成したから、紙製展開材の各面部の形状が L 字型収納箱に組み立てた際の各面の形状と同形状となり、各面部が組み立てた際にどの位置になるのかが容易に認識できるため、組み立て手順が分かり易く、必要時に簡単に組み立てて使用することができる実用性に優れた L 字型収納箱となる。

40

【 0 0 1 3 】

しかも、本発明は、背面部を開閉自在に構成して、L 字型収納箱の背面側開口部から L 字型の収納物を出し入れするようにしたので、例えば、長靴をこの L 字型収納箱に収納する際、長靴を横倒しすることなく起立状態で二足並べて容易に収納することができるので非常に使い勝手が良く、また、背面部は、開き止め係止片によって開き止めできるので、この背面部が勝手に開いて収納物が外部に飛び出してしまうことも無く、確実に収納物を収納、保持することができる実用性に優れた L 字型収納箱となる。

【 0 0 1 4 】

50

また、請求項２記載の発明においては、紙製展開板材を折り曲げて組み立て形成した二体のＬ字型収納箱を巴状に組み合わせた際に、この二体のＬ字型収納箱が段差の無い直方体（立方体）形状になり、多数のＬ字型収納箱を収納する際、これらを積層状態或いは並設状態とした際にＬ字型収納箱間に無駄なスペースを生じず、効率良くこれらを収納することができる収納性に優れたＬ字型収納箱となる。

【００１５】

また、請求項３記載の発明においては、低コストで且つ耐久性に優れた画期的なＬ字型収納箱となる。

【図面の簡単な説明】

【００１６】

10

【図１】本実施例の展開図である。

【図２】本実施例の展開図の別例を示す概略図である。

【図３】本実施例の展開図の別例を示す概略図である。

【図４】本実施例の組み立て手順説明斜視図である。

【図５】本実施例の組み立て手順説明斜視図である。

【図６】本実施例の組み立て手順説明斜視図である。

【図７】本実施例の組み立て手順説明斜視図である。

【図８】本実施例の組み立て手順説明斜視図である。

【図９】本実施例の組み立て手順説明斜視図である。

20

【図１０】本実施例の組み立て手順説明斜視図である。

【図１１】本実施例の組み立て手順説明斜視図である。

【図１２】本実施例の組み立て完成状態を示す背面側斜視図である。

【図１３】本実施例の使用状態を示す説明斜視図である。

【図１４】本実施例を二体巴状に組み合わせた状態を示す斜視図である。

【発明を実施するための形態】

【００１７】

好適と考える本発明の実施形態を、図面に基づいて本発明の作用を示して簡単に説明する。

【００１８】

本発明は、紙製展開材１の各面部の形状をＬ字型収納箱に組み立てた際の各面の形状と同形状に設定したので、従来例のように複数の面板を重ね合わせて貼り付けたり組み合わせたりして面板をＬ字型に形成する必要がなく、各面部が組み立てた際にどの位置になるのかが容易に認識できるため、組み立て手順が分かり易く、極めて容易に組み立てることができる。

30

【００１９】

即ち、本発明の紙製展開板材１を折り曲げてＬ字型収納箱１１を組み立て形成する際は、例えば、一直線上に配設されている上面部３と底面部４と左側面部７と右側面部８とを折り縁で折り曲げてこの四つの面部で枠状体を形成し、この四つの面部を枠状体に形成したことによって形成された正面側開口部１２と背面側開口部２とを夫々閉口するように正面部５と背面部６とを所定方向に折り曲げるだけの極めて簡易な組み立て作業で容易にＬ字型収納箱１１を組み立て形成することができる。

40

【００２０】

また、組み立ての際は、面同士を接着する作業も不要で、折り曲げて組み立てるだけなので、極めて容易に短時間で組み立てることができる実用性に優れた画期的なＬ字型収納箱となる。

【００２１】

しかも、本発明は、収納物を出し入れする際は、背面部６を開閉操作して広い背面側開口部２から収納物を出し入れするようにしたので、収納物を出し入れ作業が非常にし易く、例えば、Ｌ字型の収納物である長靴をこのＬ字型収納箱に収納する際も、長靴を横倒しすることなく起立状態で二足並べて容易に収納することができる使い勝手に優れたＬ字型

50

収納箱となる。

【 0 0 2 2 】

更に、Ｌ字型収納箱11内に収納物を収納して背面部 6 を閉じた際、この背面部 6 に設けた係止片係合部10に、上面部 3 と底面部 4 と左側面部 7 と右側面部 8 のいずれかに設けた開き止め係止片 9 を係合させることで、この背面部 6 が開き止めされて勝手に開いてしまうことがなくなるので、確実に収納物をＬ字型収納箱11内に収納、保持することができる実用性に優れたＬ字型収納箱となる。

【実施例】

【 0 0 2 3 】

本発明の具体的な実施例について図面に基づいて説明する。

10

【 0 0 2 4 】

本実施例は、一枚の所定形状に形成した段ボールから成る紙製展開板材 1 を折り曲げて組み立て形成し、長靴やロングブーツ等のＬ字型の収納物を起立状態で開閉自在に設けた背面側開口部 2 から出し入れし得るように構成したＬ字型収納箱である。

【 0 0 2 5 】

具体的には、紙製展開板材 1 は、方形状に形成した上面部 3、底面部 4、正面部 5 及び背面部 6 と、Ｌ字状に形成した一对の左側面部 7 及び右側面部 8 とから成り、上面部 3 と底面部 4 と左側面部 7 と右側面部 8 とを一直線上に配設して折り縁を介して連設した構成とし、背面部 6 は、上面部 3 と底面部 4 と左側面部 7 と右側面部 8 のいずれかの背面側辺部に折り縁を介して連設すると共に、連設した側と反対側に、上面部 3 と底面部 4 と左側面部 7 と右側面部 8 のいずれかに設けられこの背面部 6 を開き止め係止する開き止め係止片 9 と係合する係止片係合部10を設けた構成とし、正面部 5 は、奥側正面部 5 A と手前側正面部 5 B とこの奥側正面部 5 A と手前側正面部 5 B との間に配設される先端上面部 5 C とで構成すると共に、先端上面部 5 C を折り縁を介して奥側正面部 5 A と連設した構成としている。

20

【 0 0 2 6 】

より具体的には、本実施例の紙製展開板材 1 は、図 1 に示すように、左側面部 7 と上面部 3 と右側面部 8 と底面部 4 とをこの順に一直線上に配設し、夫々を折り縁を介して連設した構成とし、より詳細には、左側面部 7 の上辺部に折り縁を介して上面部 3 の左側辺部を連設し、この上面部 3 の右側辺部に折り縁を介して右側面部 8 の上辺部を連設し、この右側面部 8 の底辺部に折り縁を介して底面部 4 の右側辺部を連設した構成としている。

30

【 0 0 2 7 】

また、この一直線上に配設したこれら左側面部 7、上面部 3、右側面部 8、底面部 4 のうちの、左側面部 7 の背面側辺部に折り縁を介して背面部 6 の左側辺部を連設し、上面部 3 の正面側辺部に折り縁を介して奥側正面部 5 A の上辺部を連設し、底面部 4 の正面側辺部に折り縁を介して手前側正面部 5 B の底辺部を連設すると共に、奥側正面部 5 A の下辺部に折り縁を介して先端上面部 5 C の背面側辺部を連設した構成としている。

【 0 0 2 8 】

本実施例の紙製展開材 1 について、更に詳細に説明すると、上面部 3 は、方形状に形成して、左側辺部に折り縁を介して左側面部 7 の上辺部を連設し、右側辺部に折り縁を介して右側面部 8 の上辺部を連設し、正面側辺部（図 1 では下側）に折り縁を介して正面部 5 を構成する奥側正面部 5 A を連設した構成としている。

40

【 0 0 2 9 】

また、背面側辺部（図 1 では上側）には、折り縁を介して背面部 6 の上側部と重合する重合片13を連設した構成としている。

【 0 0 3 0 】

また、底面部 4 は、方形状に形成し、右側辺部（図 1 では左側）に折り縁を介して右側面部 8 の底辺部を連設し、正面側辺部に折り縁を介して正面部 5 を構成する手前側正面部 5 B の底辺部を連設した構成としている。

【 0 0 3 1 】

50

また、背面側辺部には、折り縁を介して背面部 6 の底側部と重合する重合片 14 を連設し、左側辺部（図 1 では右側）には、折り縁を介して左側面部 7 の底側部と重合する差し込み重合片 15 を連設すると共に、前記折り縁上に切込み 16 を設けた構成とし、この切込み 16 は、長辺を前記折り縁と平行となるようにして差し込み重合片 15 に設け、各短辺部を前記折り縁と交差（直交）するように設けて、底面部 4 側に向けて開口するコ字状に形成して、組み立て時に差し込み重合片 15 を前記折り縁に沿って折り曲げた際、この差し込み重合片 15 の連設側端部に、左側面部 7 に設けた差し込み係止片 26 を差し込み係合（差し込み係止）し得る差し込み係合部 17（本実施例では差し込み係合孔）を形成するように構成している。

【 0 0 3 2 】

10

また、正面部 5 は、奥側正面部 5 A と手前側正面部 5 B とこの奥側正面部 5 A と手前側正面部 5 B との間に配設される先端上面部 5 C とで構成しており、奥側正面部 5 A 及び先端上面部 5 C は上面部 3 と連設し、手前側正面部 5 B は前述した底面部 4 と連設した構成としている。

【 0 0 3 3 】

具体的には、奥側正面部 5 A は、方形状に形成し、上辺部に折り縁を介して上面部 3 の正面側辺部を連設し、下辺部に折り縁を介して先端上面部 5 C の奥側（背面側）辺部を連設した構成としている。

【 0 0 3 4 】

また、左右両側辺部には、夫々凹状の切欠き部 18 を設けた構成とし、この切欠き部 18 は、組み立てた際に、左側面部 7、右側面部 8 の夫々に設けた係合凸片 33 と係合し得る形状に形成した構成としている。

20

【 0 0 3 5 】

また、手前側正面部 5 B は、方形状に形成し、底辺部に折り縁を介して底面部 4 の正面側辺部を連設した構成としている。

【 0 0 3 6 】

また、上辺部には、折り縁を介して差し込み係止片 19 を連設した連設した構成とし、この差し込み係止片 19 は、組み立てた際に先端上面部 5 C に形成される差し込み係合部 23 に差し込み係合（差し込み係止）し得る形状に形成した構成としている。

【 0 0 3 7 】

30

また、先端上面部 5 C は、前述した上面部 3 と同形状且つ同面積の方形状に形成し、奥側（背面側）辺部に折り縁を介して奥側正面部 5 A の下辺部を連設した構成としている。

【 0 0 3 8 】

また、左右両側辺部には、折り縁を介して差し込み係止片 20 を連設した構成とし、この差し込み係止片 20 は、組み立て時に左側面部 7、右側面部 8 の夫々に形成される差し込み係合部 30 に差し込み係合（差し込み係止）し得る形状に形成した構成としている。

【 0 0 3 9 】

また、正面側辺部には、折り縁を介して手前側正面部 5 B の上側部と重合する重合片 21 を連設すると共に、前記折り縁上に切込み 22 を設けた構成とし、この切込み 22 は、長辺を前記折り縁と平行となるようにして重合片 21 に設け、各短辺部を前記折り縁と交差（直交）するように設けて、先端上面部 5 C 側に向けて開口するコ字状に形成して、組み立て時に重合片 21 を前記折り縁に沿って折り曲げた際、この重合片 21 の連設側端部に、前述した手前側正面部 5 B に設けた差し込み係止片 19 を差し込み係合（差し込み係止）し得る差し込み係合部 23（本実施例では、差し込み係合孔）を形成するように構成している。

40

【 0 0 4 0 】

また、背面部 6 は、方形状に形成し、左側辺部（図 1 では下側）に左側面部 7 の背面側辺部を連設した構成としている。

【 0 0 4 1 】

また、右側辺部（図 1 では上側）には、折り縁を介して差し込み係止片 24 を連設すると共に、前記折り縁上に切込み 25 を設けた構成とし、この切込み 25 は、長辺を前記折り縁と

50

平行となるようにして差し込み係止片24に設け、各短辺部を前記折り縁と交差（直交）するように設けて、背面部6側に向けて開口するコ字状に形成して、組み立て時に差し込み係止片24を前記折り縁に沿って折り曲げた際、この差し込み係止片24の連設側端部に、この背面部6を開き止め係止するための右側面部8に設けた開き止め係止片9を差し込み係合（差し込み係止）し得る係止片係合部10（本実施例では、係止片係合孔）を形成するように構成している。

【0042】

また、左側面部7は、L字型に形成し、上辺部（図1では右側）に折り縁を介して上面部3の左側辺部を連設し、背面側辺部（外側L字長辺部）に折り縁を介して背面部6を連設した構成としている。

【0043】

また、底辺部（外側L字短辺部）には、折り縁を介して差し込み係止片26を連設した構成とし、この差し込み係止片26は、組み立て時に底面部4に形成される差し込み係合部17（差し込み係合孔）に差し込み係合（差し込み係止）し得る形状に形成した構成としている。

【0044】

また、正面手前側辺部には、折り縁を介して手前側正面部5Bの左側部と重合する重合片27を連設した構成としている。

【0045】

また、先端側水平辺部（内側L字短辺部）には、折り縁を介して先端上面部5Cの左側部と重合する重合片28を連設すると共に、前記折り縁上に切込み29を設けた構成とし、この切込み29は、長辺を前記折り縁と平行となるようにして重合片28に設け、各短辺部を前記折り縁と交差（直交）するように設けて、左側面部7の短手部側に向けて開口するコ字状に形成して、組み立て時に重合片28を前記折り縁に沿って折り曲げた際、この重合片28の連設側端部に、前述した先端上面部5Cに設けた差し込み係止片20を差し込み係合（差し込み係止）し得る差し込み係合部30（本実施例では、差し込み係合孔）を形成するように構成している。

【0046】

また、正面奥側辺部（内側L字長辺部）には、折り縁を介して奥側正面部5Aの左側部と重合する重合片31を連設すると共に、前記折り縁上に切込み32を設けた構成とし、この切込み32は、長辺を前記折り縁と平行となるようにして重合片31に設け、各短辺部を前記折り縁と交差（直交）するように設けて、左側面部7の長手部側に向けて開口するコ字状に形成して、組み立て時に重合片31を前記折り縁に沿って折り曲げた際、この左側面部7の正面奥側辺部（内側L字長辺部）に、正面側に向かって突出し前述した奥側正面部5Aに設けた切欠き部18と係合し得る係合凸片33を形成するように構成している。

【0047】

また、右側面部8は、左側面部7と同形状のL字型に形成し、上辺部（図1では左側）に折り縁を介して上面部3の右側辺部を連設し、底辺部（外側L字短辺部）に折り縁を介して底面部4を連設した構成としている。

【0048】

また、背面側辺部（外側L字長辺部）には、折り縁を介して開き止め係止片9を連設した構成とし、この開き止め係止片9は、組み立て時に背面部6に形成される係止片係合部10（係止片係合孔）に差し込み係合（差し込み係止）し得る形状に形成した構成とし、更に具体的には、この開き止め係止片9は、右側面部8にこの開き止め係止片9の左右両端辺の延長線上に切込み34を設けて、この右側面部8に開閉回動自在（切り起こし可動自在）に設けた構成とすると共に、前記折り縁上若しくは折り縁と隣接する位置にコ字状の切込み35を設けて、組み立て時にこの開き止め係止片9を前記折り縁に沿って折り曲げた際、この開き止め係止片9の前記折り縁に、この開き止め係止片9を摘み操作し得る摘み取手部36を形成するように構成している。

【0049】

また、正面手前側辺部には、折り縁を介して手前側正面部 5 B の右側部と重合する重合片 37 を連設した構成としている。

【 0 0 5 0 】

また、先端側水平辺部（内側 L 字短辺部）には、折り縁を介して先端上面部 5 C の右側部と重合する重合片 38 を連設すると共に、前記折り縁上に切込み 39 を設けた構成とし、この切込み 39 は、長辺を前記折り縁と平行となるようにして重合片 38 に設け、各短辺部を前記折り縁と交差（直交）するように設けて、右側面部 8 の短手部側に向けて開口するコ字状に形成して、組み立て時に重合片 38 を前記折り縁に沿って折り曲げた際、この重合片 38 の連設側端部に、先端上面部 5 C に設けた差し込み係止片 20 を差し込み係合（差し込み係止）し得る差し込み係合部 30（本実施例では、差し込み係合孔）を形成するように構成している。

10

【 0 0 5 1 】

また、正面奥側辺部（内側 L 字長辺部）には、折り縁を介して奥側正面部 5 A の右側部と重合する重合片 40 を連設すると共に、前記折り縁上に切込み 41 を設けた構成とし、この切込み 41 は、長辺を前記折り縁と平行となるようにして重合片 40 に設け、各短辺部を前記折り縁と交差（直交）するように設けて、右側面部 8 の長手部側に向けて開口するコ字状に形成して、組み立て時に重合片 40 を前記折り縁に沿って折り曲げた際、この右側面部 8 の正面奥側辺部（内側 L 字長辺部）に、正面側に向かって突出し前述した奥側正面部 5 A に設けた切欠き部 18 と係合し得る係合凸片 33 を形成するように構成している。

【 0 0 5 2 】

20

このように、本実施例の紙製展開材 1 は、予め左右側面部 7、8 を L 字型に形成した紙製展開材 1 としたので、各面部が組み立てた際どの位置になるものかが容易に認識できる単純な形状に構成されているため、組み立て手順が分かり易いものとなっている。

【 0 0 5 3 】

尚、本実施例の紙製展開材 1 は、上述した構成に限らず、例えば、図 2、図 3 に示すような構成でも良い。

【 0 0 5 4 】

即ち、本実施例では、背面部 6 は左側面部 7 に連設した構成としたが、図 2 の（b）～（d）に示すように、上面部 3 や右側面部 8 や底面部 4 に連設した構成としても良く、また、図 2 の（a）に示すように、正面部 5 を構成する奥側正面部 5 A、手前側正面部 5 B、先端上面部 5 C を連設して一体形成した構成としても良い。

30

【 0 0 5 5 】

また、図 3 の（a）～（d）に示すように、底面部 4 の左右側辺部に左側面部 7 及び右側面部 8 を連設した構成、即ち、上面部 3、右側面部 8、底面部 4、左側面部 7 の順に配設して連設した構成としても良く、また、この際も、図 2 と同様、背面部 6 は、上面部 3、右側面部 8、底面部 4、左側面部 7 のいずれに連設しても良い。

【 0 0 5 6 】

また、紙製展開材 1 表面（裏側若しくは表裏両側）に撥水加工を施して防水性を付与し、例えば、家庭で使用した長靴等を収納、保管する際、長靴等に水分が付いている状態でそのまま収納しても、この L 字型収納箱 11 が水分によって破損しないような構成としても良い。

40

【 0 0 5 7 】

以上のように構成した本実施例の紙製展開材 1 を折り曲げて L 字型収納箱 11 に組み立て形成する際の組立手順の一例を図 4～図 12 に基づいて説明する。

【 0 0 5 8 】

先ず、図 4 に示すように、紙製展開材 1 の裏面を上側にした状態で載置する。

【 0 0 5 9 】

次いで、底面部 4 の右側側辺部と右側面部 8 の底辺部との間に介在する折り縁に沿って右側面部 8 を底面部 4 に対して上方に向けて直角に折り曲げて、この右側面部 8 を立設状態にして、図 5 に示すような状態にする。

50

【 0 0 6 0 】

次いで、この立設状態にした右側面部 8 の上辺部と上面部 3 の右側辺部との間に介在する折り縁に沿って上面部 3 を右側面部 8 に対して下方に向けて直角に折り曲げて、この上面部 3 を底面部 4 と平行な状態にすると共に、底面部 4 の左側辺部に折り縁を介して連設した差し込み重合片 15 を、この折り縁に沿って上方に向けて直角に折り曲げて立設状態にして、図 6 に示すような状態にする。

【 0 0 6 1 】

また、この差し込み重合片 15 を上方に向けて直角に折り曲げることによって、この差し込み重合片 15 の連設側端部に、左側面部 7 に設けた差し込み係止片 26 を差し込み係合（差し込み係止）し得る差し込み係合部 17（本実施例では差し込み係合孔）が形成される。

10

【 0 0 6 2 】

次いで、底面部 4 と平行な状態にした上面部 3 の左側辺部と左側面部 7 の上辺部との間に介在する折り縁に沿って左側面部 7 を上面部 3 に対して下方に向けて直角に折り曲げて、この左側面部 7 の下部側を立設状態にした底面部 4 の差し込み重合片 15 に重合させて、この左側面部 7 を右側面部 8 と同様に立設状態にすると共に、この左側面部 7 の底辺部に折り縁を介して連設した差し込み係止片 26 を、前記底面部 4 の差し込み係合部 17（差し込み係合孔）に差し込み係合（差し込み係止）して、図 7 に示すような、一直線上に配設し連設した底面部 4、右側面部 8、上面部 3、左側面部 7 で方形状の枠状体を形成した状態にする。

【 0 0 6 3 】

20

次いで、この方形状枠状体を形成したことで形成された正面側開口部 12 を閉口する。

【 0 0 6 4 】

具体的には、先ず、左側面部 7 の先端側水平辺部（内側 L 字短辺部）に折り縁を介して連設した重合片 28 と奥側正面辺部（内側 L 字長辺部）に折り縁を介して連設した重合片 31 を夫々、折り縁に沿って内方に向けて直角に折り曲げ、また、右側面部 8 も同様に、右側面部 8 の先端側水平辺部（内側 L 字短辺部）に折り縁を介して連設した重合片 38 と奥側正面辺部（内側 L 字長辺部）に折り縁を介して連設した重合片 40 を夫々、折り縁に沿って内方に向けて直角に折り曲げて、図 7 に示すような状態にする。

【 0 0 6 5 】

次いで、奥側正面部 5 A の下辺部と先端上面部 5 C の上辺部との間に介在する折り縁に沿って先端上面部 5 C を奥側正面部 5 A に対して上方に向けて直角に折り曲げて、この奥側正面部 5 A と先端上面部 5 C とを L 字状に形成すると共に、この先端上面部 5 C の左右両側辺部に折り縁を介して連設した各差し込み係止片 20 及び正面側辺部に折り縁を介して連設した重合片 21 を夫々前方に向けて直角に折り曲げて、図 8 に示すような状態にする。

30

【 0 0 6 6 】

また、この重合片 21 を前方に向けて直角に折り曲げることによって、この重合片 21 の連設側端部に、手前側正面部 5 B に設けた差し込み係止片 19 を差し込み係合（差し込み係止）し得る差し込み係合部 23（本実施例では差し込み係合孔）が形成される。

【 0 0 6 7 】

次いで、上面部 3 の正面側辺部と奥側正面部 5 A の上辺部との間に介在する折り縁に沿って奥側正面部 5 A を上面部 3 に対して下方に向けて直角に折り曲げて、奥側正面部 5 A の左右の切欠き部 18 の夫々を左側面部 7 及び右側面部 8 の奥側正面辺部（内側 L 字長辺部）に形成した係合凸片 33 に嵌合させると共に、この奥側正面部 5 A の左右部側を夫々、左側面部 7 の奥側正面辺部（内側 L 字長辺部）に連設した重合片 31 及び右側面部 8 の奥側正面辺部（内側 L 字長辺部）に連設した重合片 40 に重合させ、また、奥側正面部 5 A に連設した先端上面部 5 C の左右の差し込み係止片 20 を左側面部 7 及び右側面部 8 に形成した差し込み係合部 30（差し込み係合孔）に差し込み係合（差し込み係止）して、この先端上面部 5 C の左右側部を夫々、左側面部 7 の先端側水平辺部（内側 L 字短辺部）に連設した重合片 28 及び右側面部 8 の先端側水平辺部（内側 L 字短辺部）に連設した重合片 38 に重合させて、図 9 に示すような正面側開口部 12 の上部側を閉口した状態にする。

40

50

【 0 0 6 8 】

次いで、手前側正面部 5 B の上辺部に折り縁を介して連設した差し込み係止片 19 を、前記折り縁に沿って上方に向けて直角に折り曲げ、次いで、底面部 4 の正面側辺部と手前側正面部 5 B の底辺部との間に介在する折り縁に沿って奥側正面部 5 A を底面部 4 に対して上方に向けて直角に折り曲げて、この手前側正面部 5 B の左側部、右側部及び上側部を、左側面部 7 の重合片 27、右側面部 8 の重合片 37 及び先端上面部 5 C の重合片 21 に夫々重合させると共に、前記差し込み係止片 19 を先端上面部 5 C に形成した差し込み係合部 23 (差し込み係合孔) に差し込み係合 (差し込み係止) して、図 10 に示すような正面側開口部 12 の下側を閉口して正面側開口部 12 全体を閉口した状態にする。

【 0 0 6 9 】

次いで、上面部 3 の背面側辺部に折り縁を介して連設した重合片 13 と、底面部 4 の背面側辺部に折り縁を介して連設した重合片 14 と、背面部 6 の右側辺部に折り縁を介して連設した差し込み係止片 24 とを夫々、折り縁に沿って内方に向けて直角に折り曲げ、更に、右側面部 8 の背面側辺部に折り縁を介して連設した開き止め係止片 9 を折り縁に沿って内方に向けて直角に折り曲げると共に、この開き止め係止片 9 を外方側に引っ張り切起こして、図 11 に示すような状態にする。

【 0 0 7 0 】

また、この際、図 11 に示すように、背面部 6 の差し込み重合片 15 の連設側端部に右側面部 8 の背面側に設けた開き止め係止片 9 を差し込み係合 (差し込み係止) し得る係止片係合部 10 (本実施例では係止片係合部孔) が形成され、開き止め係止片 9 の連設側端部に摘み取手部 36 が形成される。

【 0 0 7 1 】

そして、最後に、左側面部 7 の背面側辺部と背面部 6 の左側辺部との間に介在する折り縁に沿って背面部 6 を内方に直角に折り曲げて、差し込み重合片 15 が右側面部 8 の背面側部と重合するように差し込み係合 (差し込み係止) して、背面側開口部 2 を閉口した状態にし、更に、開き止め係止片 9 を係止片係合部 10 (係止片係合孔) に差し込み係合 (差し込み係止) して、この背面部 6 が勝手に開かないようにロックすることで組み立て終了となり、図 12 に示すような L 字型収納箱 11 が完成する。

【 0 0 7 2 】

このように、本実施例は、底面部 4、右側面部 8、上面部 3、左側面部 7 の夫々を折り縁に沿って折り曲げて方形状の枠状体にし、正面側開口部 12 及び背面側開口部 2 を夫々、正面部 5 と背面部 6 とで閉口するだけの極めて簡単な作業で容易に組み立てることができ、また、組み立ての際に、接着剤やテープなどの止着材を用いて面部同士を貼り合わせたり固定したりする作業を要しないので、必要時に簡単に組み立てて使用することができる実用性に優れた L 字型収納箱となる。

【 0 0 7 3 】

しかも、本実施例は、背面部 6 を開閉自在に構成して、L 字型収納箱 11 の背面側開口部 2 から L 字型の収納物を出し入れするようにしたので、例えば、長靴をこの L 字型収納箱に収納する際、図 13 に示すように、長靴を横倒しすることなく起立状態で二足並べて容易に収納することができ、また、背面部 6 は、開き止め係止片 9 を係止片係合部 10 (係止片係合孔) に差し込み係合 (差し込み係止) することによって開き止めすることができ、この背面部 6 が勝手に開いて収納物が外部に飛び出してしまうことも無く、確実に収納物を収納、保持することができる実用性に優れた L 字型収納箱となる。

【 0 0 7 4 】

また、本実施例の L 字型収納箱 11、二体を巴状に組み合わせた際に、図 14 に示すように、一方の L 字型収納箱 11 の背面部 6 と他方の L 字型収納箱 11 の手前側正面部 5 B とが面一状態となり、段差の無い直方体 (立方体) 形状になり、多数の L 字型収納箱 11 を収納する際、これらを積層状態或いは並設状態とした際に L 字型収納箱 11 間に無駄なスペースを生じず、効率良くこれらを収納することができる収納性に優れた L 字型収納箱となる。

【 0 0 7 5 】

尚、本発明は、本実施例に限られるものではなく、各構成要件の具体的構成は適宜設計し得るものである。

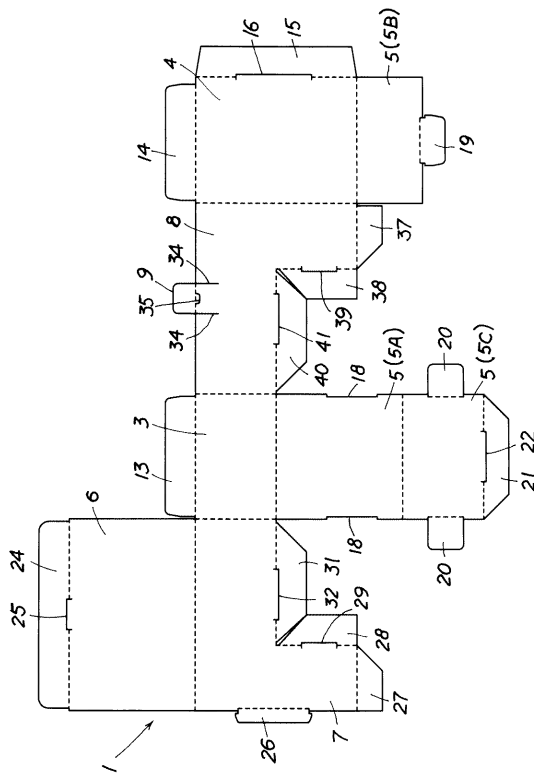
【符号の説明】

【0076】

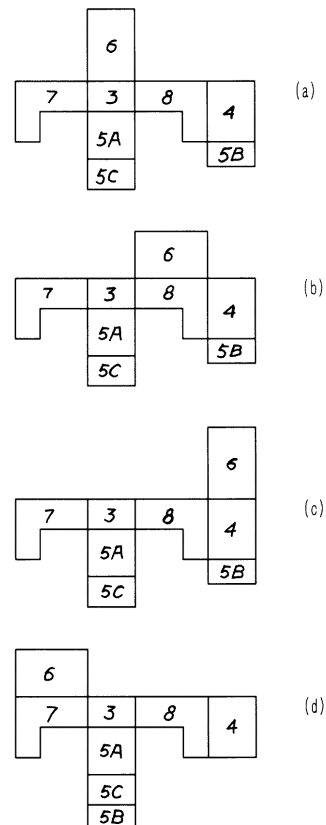
- 1 紙製展開材
- 2 背面側開口部
- 3 上面部
- 4 底面部
- 5 正面部 5
- 5 A 奥側正面部
- 5 B 手前側正面部
- 5 C 先端上面部
- 6 背面部
- 7 左側面部
- 8 右側面部
- 9 開き止め係止片
- 10 係止片係合部
- 11 L字型収納箱

10

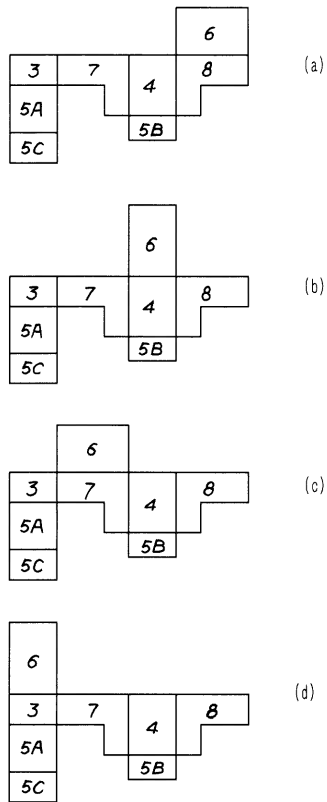
【図1】



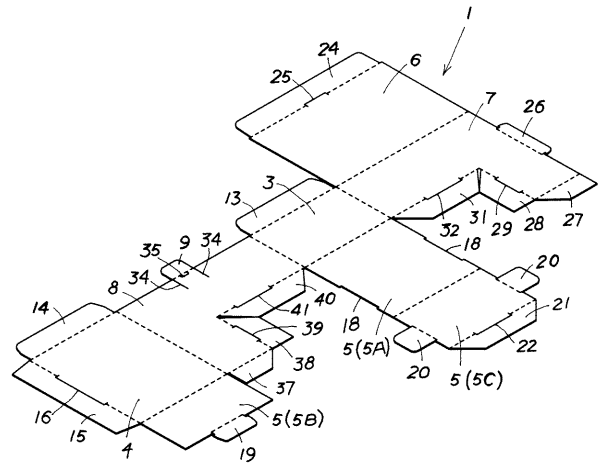
【図2】



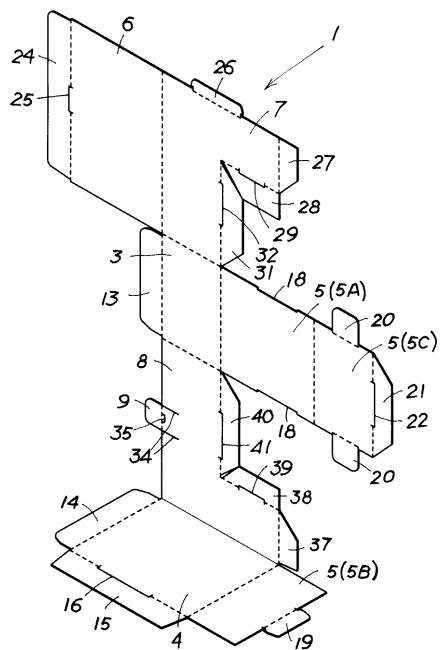
【 図 3 】



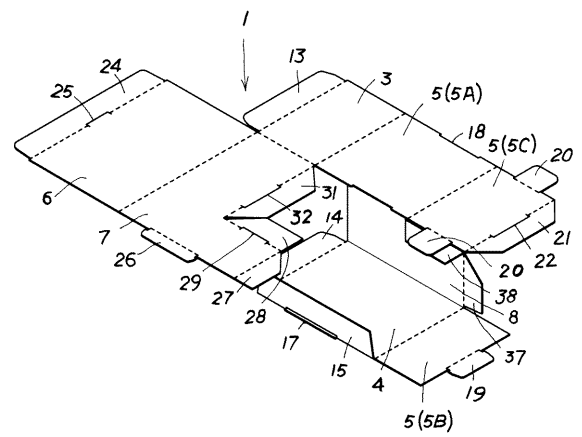
【 図 4 】



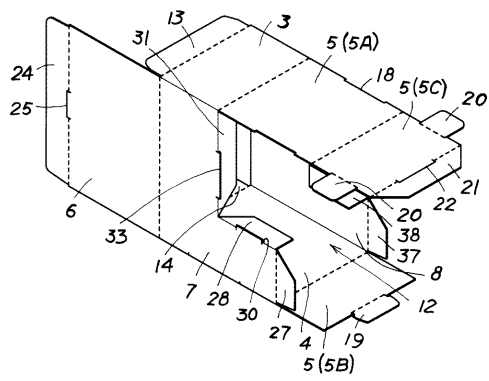
【 図 5 】



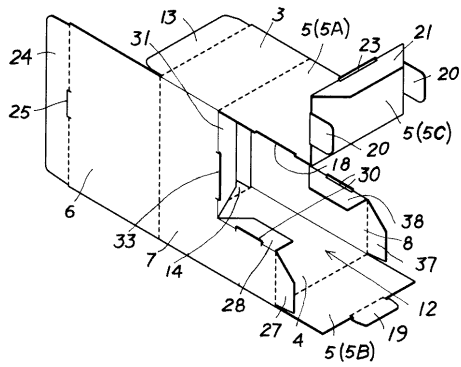
【 図 6 】



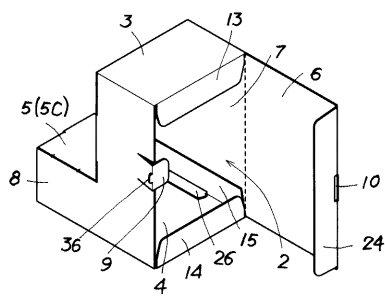
【図 7】



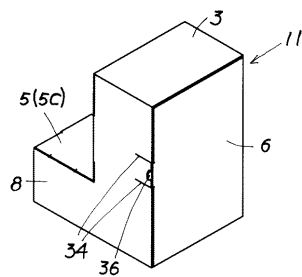
【図 8】



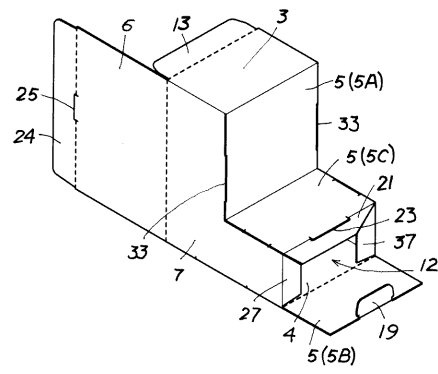
【図 11】



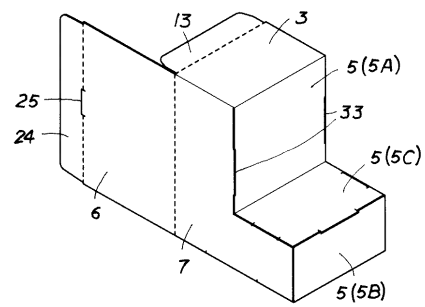
【図 12】



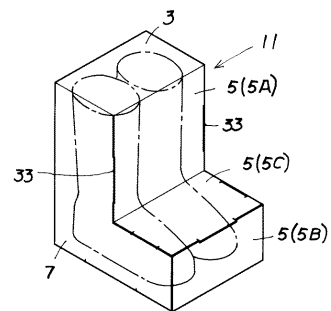
【図 9】



【図 10】



【図 13】



【図 14】

